

Q 5 : これまで情報活用能力の育成は、総合的な学習の時間を中心に行ってきましたが、新学習指導要領ではどのように変わるのですか。

情報活用能力の育成場面

情報活用能力は各教科等で育成を図ることが求められます。探究的な学習である総合的な学習の時間においては、必要に応じて情報手段の活用を伴う学習活動を行うことができます。

そこで、情報活用能力や情報モラルを育成する場面が明確になるような指導計画の工夫・改善が必要になります。学習活動については本書P. 54を参考にしてください。また、情報モラルの育成のためには、小学校低学年から道徳性を養うことが大切です。

指導計画例

各教科（単元）等における指導計画の例を示すので、参考にしてください。

情報活用能力		小学校高学年
観点	分類	6年
情報活用の実践力	適切な活用 【操作習得】	(小学校5年までの操作習得に記載)
	【活用】	【理科】「ヒトや動物の体」 ・人体の内部構造をシミュレーションソフトを使って理解させる。
	情報の収集・判断・表現・処理・創造 【収集・判断】	【理科】「自由研究」 ・興味や関心のある分野の自由研究に取り組み、インターネット等で情報を収集させる。 【算数】「いろいろな速さを調べてみよう」 ・動物や乗り物の速さを調べる際、表計算ソフトを使い、調べる。
	【表現・処理・創造】	【算数】「立体を調べよう」 ・シミュレーションソフトを使い、立体の特徴を理解させる。
情報の科学的な理解	発信・伝達	【国語】「未来へのメッセージ」を書こう ・文字の大きさや配置などを工夫し、コンピュータを使って書いたり、プレゼンテーションソフトを使って紹介させる。
	情報手段の特性の理解	【総合】 ・コンピュータが扱うデータには大きさがあり、ファイルサイズや転送速度に影響することを理解させる。
	評価・改善のための理論や方法の理解	【総合、各教科】 ・自らの情報活用について記録し、評価し、改善させる。
情報社会に参画する態度	役割や影響の理解	【総合、社会、理科】 ・情報を伝える産業としてのマスメディアの理解や、情報化によって高度化する産業の様子を教え、情報社会に関する認識を深める体験をさせる。
	参画する態度	【総合、社会】 ・情報には発信者の意図と背景があることを理解し、受ける側が情報の判断をする必要があることを理解させる。
	情報モラル	【総合、国語、社会、図画工作】 ・著作物や知的財産権について理解し、これらの権利を守ることを理解させる。 【総合】 ・インターネットの影響力の強さを知り、不確かな情報を発信しないようにさせる。 【社会、総合】 ・発信する情報に責任をもち、学習に協力してくれた人々への感謝の気持ちを忘れないことを情報発信上の配慮として体験させる。 【道徳】 ・「公正・公平、正義」「勤労、社会奉仕、公共心」「規則の尊重、権利・義務」等

各学校で現在機能している情報モラルの計画を反映させる。

情報活用能力		中学校
観点	分類	1年
情報活用の実践力	情報手段の活用	【国語】「読書を楽しもう」 ・興味のある小説家について調べ、その人の略歴や作品についてまとめ、感想を書かせる。 【教科】「単元名」 ・指導事項や学習活動の順に明記してある。
	主体的収集	【社会】「身近な地域を調べよう」 ・インターネットを利用して様々な地域の地理的事象を見だして追求し、その地域の特徴をまとめる。 【家庭】「わたしたちの衣生活」 ・グラフィックソフトなどを利用して、コンピュータ画面上でいろいろな衣服の組み合わせを試させる。 【国語】 ・文字中心のコミュニケーションでは、感情がうまく伝わらないことを理解させる。
	情報の科学的な理解	情報手段の特性の理解 (中学校2年【技術】に記載) 評価・改善のための理論や方法の理解 (中学校2年【技術】に記載)
情報社会に参画する態度	役割や影響の理解	(中学校2年【技術】に記載)
	参画する態度	【保健】「健康な生活と疾病の予防」 ・コンピュータの使用時間、肩こりの有無等についてクラス内でアンケート調査を行い、これらの関連性を調べさせる。
	情報モラル	【特活、短学活等】 ・被害やトラブルに巻き込まれそうになった場合は、保護者や先生に相談することを理解させる。 【特活、短学活等】 ・携帯電話について、その光の部分と影の部分を知り、有害情報には近づかないようにさせる。 【特活、短学活等】 ・個人情報やプライバシーの大切さを考え、それらを守る方法を考えさせる。 【道徳】 ・「公正・公平、正義」「勤労、社会奉仕、公共心」「規則の尊重、権利・義務」等

おわりに

情報活用能力を身に付けさせるためには、各学校の情報教育全体計画を見直し、情報活用能力の3観点相互の関係を考え、児童生徒の発達の段階に応じて指導できるようにすることが大切です。上記の指導計画例を参考に見直しを図ってください。